日蓮大聖人御書全集

阿仏房御返事（あぶつぼうごへんじ）

阿仏房御返事

弘安元年('78) 6月3日 57歳 阿仏房

御状の旨、委細承り候い畢わんぬ。

大覚世尊説いて曰わく「生老病死」「生住異滅」等云々。既に生を受けて齢六旬に及ぶ。老また疑いなし。ただ残るところは病・死の二句なるのみ。しかるに、正月より今月六月一日に至り、連々としてこの病息むことなし。死ぬること疑いなきものか。経に云わく「生滅滅し已わって、寂滅を楽となす」云々。今は毒身を棄てて、後に金身

を受(う)くれば、あに歎(なげ)くべけんや。

六月三日(ろくがつみっか)　　日蓮(にちれん)　花押(かおう)

阿仏房(あぶつぼう)